

まちづくり交付金 事後評価シート

刈谷駅周辺地区

平成21年3月

愛知県刈谷市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	愛知県		市町村名	刈谷市		地区名	刈谷駅周辺地区			面積	107.2			
交付期間	平成16年度～20年度		事後評価実施時期	平成20年度		交付対象事業費	2,446百万円	国費率	0.4					
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名											
			基幹事業	道路(街路2路線)、地域生活基盤施設(自転車駐車場2箇所)、高次都市施設(地域交流センター)、公営住宅等整備										
	当初計画から削除した事業		提案事業	地域創造支援事業(地域交流センター)										
			事業名			削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響					
	新たに追加した事業		基幹事業	道路(刈谷駅南北連絡通路)、高次都市施設(地域交流センター)			道路(耐震工事)は交付対象にならないことが確定し、高次都市施設(保留床取得)は計画期間内に実施できなくなったため。			当初より関連事業も含めた目標・指標を設定しており、基幹事業から削除しても関連事業として残るので、目標値は据え置く。				
			提案事業	地域創造支援事業(地域交流センター)			地域交流センターの保留床取得が計画期間内に実施できなくなったため。			当初より関連事業も含めた目標・指標を設定しており、提案事業から削除しても関連事業として残るので、目標値は据え置く。				
交付期間の変更		当初	平成16年度～20年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		なし							
		変更	なし											
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標	1年以内の	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ			
			基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み						
	指標1	駅南北連絡通路利用者数の増加	人	19,464	H16	20,400	H20	22,067	24,536	○	ありなし	●	全体的な刈谷駅周辺の魅力と利便性の向上による。	H21年5月頃
	指標2	商業床(のべ床面積)の増加	m	101,000	H15	121,000	H20	93,694	113,694	△	ありなし	●	市街地再開発事業の効果により増加。未達成の要因は既存商業の衰退等による。	H21年6月頃
	指標3	定住人口の増加	人	4,714	H15	5,000	H20	4,546	4,934	△	ありなし	●	市街地再開発事業・住吉住宅の効果大。未達成の要因は地価の高騰等による。	H22年1月頃
	指標4	放置自転車数の減少	台	898	H15	500	H20	776	714	△	ありなし	●	駐輪場建設の効果はあったが、大規模工事による混乱等が主な未達成の要因。	H22年4月頃
	指標5	快適な歩行者エリアの確保	人	1,440	H16	2,160	H20	2,057	2,668	○	ありなし		(都)高須線・市街地再開発事業・刈谷駅南口自転車駐車場による乗乗効果。	H21年5月頃
	指標6	高須線のバリアフリー化の向上	%	33.9	H16	100	H20	48.5	100	○	ありなし		まちづくり交付金により、(都)高須線が計画通り実施できたことによる。	H21年4月頃
指標7	交通児童遊園の利用者数の増加	人/年	736,000	H16	883,000	H20	713,092	904,427	○	ありなし		大型遊具のリニューアル・園内整備による魅力の向上と、低料金設定等による。	H22年4月頃	
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標	1年以内の	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ			
			基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度※1	達成見込み						
	その他の数値指標1				H									
その他の数値指標2				H										
4) 定性的な効果発現状況	なし													
5) 実施過程の評価	実施内容					実施状況					今後の対応方針等			
	モニタリング	交付期間中の計画管理として随時数値目標達成状況等の調査を行った。				●	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				交付期間中に供用した事業は刈谷駅南口自転車駐車場の1施設のみであったため、大きな事業効果は確認できなかった。目標達成へ向け、引き続き事業を実施し、二期計画の検討も視野に入れる。			
	住民参加プロセス	なし					都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった							
	持続的なまちづくり体制の構築	なし					都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった							

様式2-2 地区の概要

刈谷駅周辺地区(愛知県刈谷市) まちづくり交付金の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値	
中心市街地における都心機能の整備による賑わいの創出(再生)	駅南北連絡通路利用者数の増加	単位: 人	19,464 H16	20,400 H20	24,536 H20
	商業床(のべ床面積)の増加	単位: ㎡	101,000 H15	121,000 H20	113,694 H20
	定住人口の増加	単位: 人	4,714 H15	5,000 H20	4,934 H20
	放置自転車数の減少	単位: 台	898 H15	500 H20	714 H20
	快適な歩行者エリアの確保	単位: 人	1,440 H16	2,160 H20	2,668 H20
	高須線バリアフリー化の向上	単位: %	33.9 H16	100 H20	100 H20
	交通児童遊園の利用者数の増加	単位: 人/年	736,000 H16	883,000 H20	904,427 H20

●刈谷駅南地区第1種市街地再開発事業

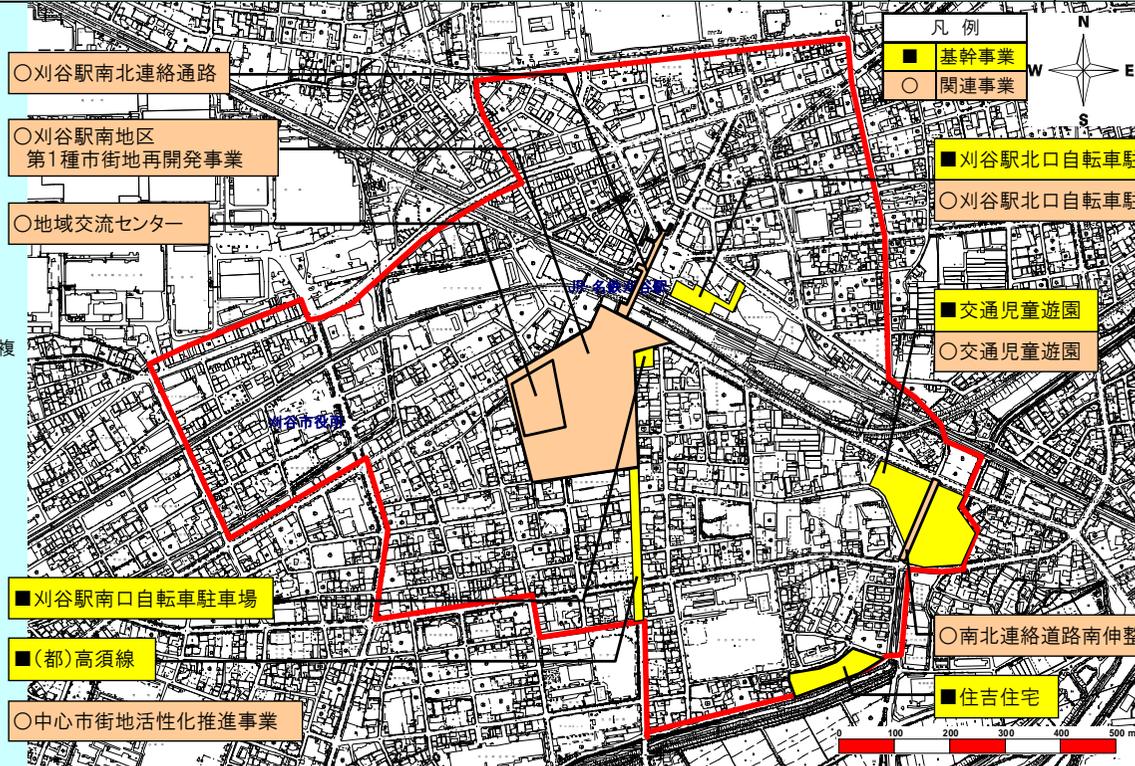


文化の拠点、都市型住宅、大型ショッピング施設、大型駐車場。駅前ならではの利便性を活かした賑わいと憩いの空間を目指し、複合的な都市機能を持った刈谷の新しい駅前タウンが誕生します。

●刈谷駅南口自転車駐車場



市の玄関口であるため、景観に配慮した駐輪場を建設しました。増加する交流人口と自転車需要に対応した二層式駐輪場です。



●交通児童遊園



園全体を大幅にリニューアルしました。子どもたちに大人気で、賑わい創出に寄与しています。

●住吉住宅



駅から徒歩圏内の都市型公営住宅を建設し、定住人口、交流人口の増加に寄与しました。

まちの課題の変化

- ・市街地再開発事業による中心市街地の核の形成、住吉住宅や交通児童遊園等による交流人口増加により、地区全体の魅力と賑わいが向上した。
- ・刈谷駅周辺の道路や駅前広場、駐輪場等の整備による交通機能の強化とバリアフリー化が実現された。今後も継続して地区全体のバリアフリー等の利便性の向上に取り組む必要がある。
- ・市街地再開発事業の一部が未供用であるため、中心市街地の真の核施設となるべく、早期完了が強く求められると同時に、新たな賑わいを持続させる主体の育成等新たな課題も発生した。

今後のまちづくりの方策(改善策を含む)

- ・商業地として賑わいを持続させるため、商店街等まちなか主体によるイベントの見直しや市民活動の推進、元気なまちの主体(市民)の育成の強化などを行う。
- ・市の玄関口としてさらなる魅力アップのために、刈谷駅南口中心で行った景観づくりを刈谷駅北口など周辺部でも推進し、地区全体の魅力アップへより一層取り組み、他市に誇れる駅前空間の創出を目指す。
- ・市街地再開発事業をより一層推進し、早期完了を目指す。また、その保留床を早期に取得し、地域交流センター(市民ホール・生涯学習センター)の早期オープンを目指す。
- ・刈谷駅南地区周辺を中心に行ってきたバリアフリー化を地区全体へと広げ、より一層歩行者空間と地区内の利便性を向上させていく必要がある。
- ・公共施設等の都市機能が集積する刈谷駅周辺の既存ストックの活用と強化、まちなか居住の促進、歩いて暮らせるまちづくりの推進等により、持続可能なまちづくりを目指す。